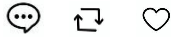


特別の教科道徳 第3学年「命を守る－困難な状況での判断について」

<生徒の感想>



どちらの考えも理解できるから、とても難しいと感じた。今回の話は、結果的には助かったけれど、もしも何かあったらという場合もあるので、話し合っよく考えることが必要だと思った。



命を守ることは大切であるが、命をどう守っていくのかを考えていかなければならないと思った。



罪を犯して命を助けるか、罪を犯さないで命が助かる可能性が低くなるか、どちらかを選ぶのは難しいと思う。犯罪を起こさないで命を助ける方法を考えたい。



みんなが混乱している状況で、事情があるのは仕方がないけれど、みんなが協力し合って理解し合うようになればよいのにと考えた。緊急時のために、車や自転車などの移動手段が整備してあれば助かると考えた。



自分が一番大切という価値観が根底にあるからこそ、このようなことが起きてしまうため、避けることは難しいと感じた。だから、私自身がその状況に陥ったとき、自分が後悔しない選択をしようと思った。



この話は、許される、許されないでくれる話ではなく、難しい問題だと思った。命は一つしかないから、何としてでも守ることは大切だと思う。しかし、やっていいことと悪いこともあるから、みんなが困っている状況でこのような行為はよくないと思うし、結論がでない問題もあるのだと思った。

